



ご家族にアトピー性皮膚炎と診断された方が いらっしゃる皆様へ

アレルギー疾患におけるハイリスク乳児の追跡研究参加のお願い

研究目的

当研究における「ハイリスク乳児」とは、ご家族やご兄弟にアトピー性皮膚炎と診断された方がいらっしゃる赤ちゃんのことです。

アレルギー疾患にかかる患者さんの数は年々増え続けています。特にアレルギー疾患の方がご家族にいらっしゃる場合、アレルギー疾患を発症しやすいこともわかっています。アレルギー疾患の患者さんの中には次々に色々なアレルギー疾患にかかったり（アレルギーマーチ）、長い間にわたって治療薬を使ったりと生活に支障をきたすこともわかっていますが、未だに発症を防ぐ方法や根治的治療薬は開発されていません。当研究ではアレルギー疾患の発症に関わる要因を探し、将来的な予後の悪化予防に繋げることを目的の一つとしています。

研究方法

アトピー性皮膚炎のハイリスク乳児を対象とした、国立成育医療研究センター、慶應義塾大学病院、浜松医科大学医学部附属病院における多施設共同出生コホート研究です。

参加者の方にはアンケート（新生児期、3か月、6か月、1歳～6歳まで毎年お誕生日月の計9回）にお答え頂き、データを元にアトピー性皮膚炎発症の関係について検討します。



お問い合わせ

慶應義塾大学病院
小児科医師 森田久美子

〒160-8582
東京都新宿区信濃町35番地
TEL:03-5363-3816
(小児科医局・平日9時～17時)
※尚、診察中や処置中など電話に出られないときには折り返させて頂くことがあります。
E-mail:keio.ped.allergy@gmail.com



参加して頂きますと、定期的に皮膚健診を受けることができます。お子さまの肌の状態をより詳しく把握できますし、皮膚疾患を発症した場合には速やかに医師の指示を受けることができます。また、健診にいらした際には、ささやかながら謝礼としてQUOカード500円分を進呈致します。

